家 畜 衛 生 情 報 No. 3 平成30年5月14日

上北地域県民局地域農林水産部 十和田家畜保健衛生所 0176-23-6235（FAX 0176-23-3044）
上十三地区家畜衛生推進協議会 0176-25-2362（FAX 0176-24-3888）
（社）青森県畜産協会 017-722-4331（FAX 017-731-1196）

アフリカ豚コレラ

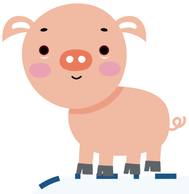
が発生しました！

4月24日、ハンガリーの野生いのししにおいてアフリカ豚コレラの発生が確認されました。
発生の原因としては、

不法に持込まれた畜産物 が疑われています。

エコフィードなど、生肉等を含む可能性のある飼料を給与する場合は飼養衛生管理基準に基づき適切な加熱処理を徹底してください。

◎適切な加熱処理とは



70℃以上で30分間以上、または80℃以上で3分間以上ムラなく加熱されていること。

アフリカ豚コレラとは

アフリカ豚コレラウイルスが豚やイノシシに感染する伝染病であり、発熱や出血性病変を特徴とする**致死性の高い伝染病**です。
アフリカ豚コレラにはワクチンも治療法も存在しません。

国内では、これまで発生が確認されておらず清浄国ですが、**アフリカ**では常在しており、**ロシア及びその周辺諸国**でも発生が確認されています。

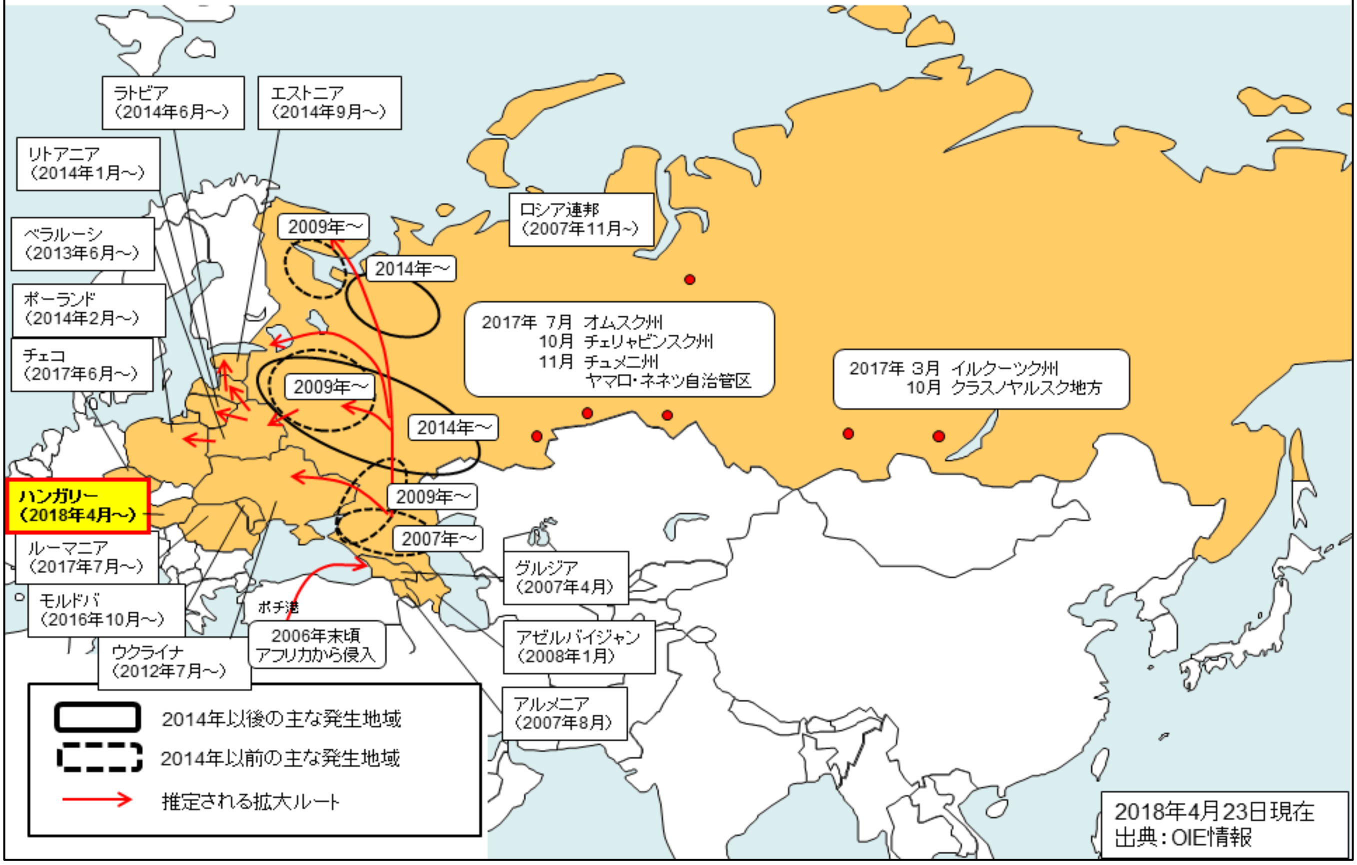
上北地域県民局地域農林水産部 **十和田家畜保健衛生所**
平日：0176－23－6235 夜間 ・休日：090－6453－7023
ホームページアドレス： http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/to-kaho/to-kaho_top.htm

ハンガリーでアフリカ豚コレラの発生を確認！

2007年にアフリカ豚コレラが確認されて以降、その発生が継続しており、発生地域が徐々に拡大しています。2017年には、ロシアのイルクーツク州やクラスノヤルスク地方のモンゴルとの国境付近で本病の発生が確認された他、2018年４月に、ハンガリーでも本病の発生が初めて確認されました！

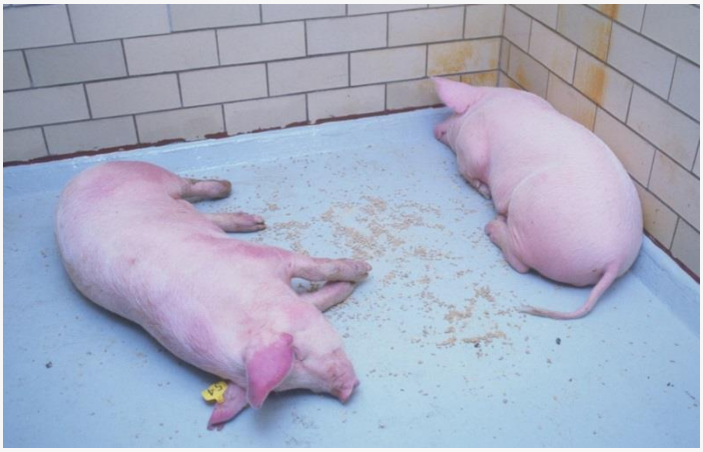
我が国に本病が侵入するリスクが更に高まっています!!

欧州・ロシアにおけるアフリカ豚コレラの発生拡大状況（2007年～）



アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱（40～42℃）、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典：USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center